

現代心理学部入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

入学者に求める知識・技能・態度・体験

本学部の教育研究上の目的(立教大学学則第1章第1条2項 別表7参照。以降同様。)に賛同し、以下のような知識・技能・態度・体験を有する学生を求めている。

・知識

高等学校を卒業するのに必要な単位を修得済みか、修得する見込みであることが必要である。

・技能

入学のために特別な技能は必要ではない。しかし、本学部の多くの授業ではコンピュータを使用することになるので、コンピュータの基本的な操作は習得しておいた方がよい。「英語」に関しては、読む、書く、話す、聞くといった能力を高等学校で十分に身につけておくことが必要である。

・態度

心、身体、映像に関する学問や実践に強い関心を持ち、専門的に探求する志を有していることが必要である。

・体験

入学のために特別な体験は必要ではない。「心」や「身体」、あるいは「映像」の不思議さに興味を引かれ、その不思議さを掘り下げて考えてみたり、あるいは自ら色々な方法で調べたり実践を通して考えたりした経験などがあれば望ましいと言えるだろう。

入試種別の目的

1. 一般入試

本学ならびに現代心理学部の教育研究上の目的を理解し、現代心理学部での教育を志望する者に対して、高等学校における教科・科目の学習の達成度を測り、選抜することを目的とする。

2. 大学入学共通テスト利用入試

本学ならびに現代心理学部の教育研究上の目的を理解し、現代心理学部での教育を志望する者に対して、高等学校における教科・科目の学習の達成度を、大学入学共通テストを利用して測定し、選抜することを目的とする。

3. 自由選抜入試

志望する学部に関連した高い能力を持つ者、あるいは学業以外の諸活動の分野に秀でた個性を持つ者で、本学ならびに現代心理学部の教育研究上の目的を理解し、そこで学びたいという熱意を提出書類および面接等の内容により多面的・総合的に評価し、選抜することを目的とする。

4. アスリート選抜入試

スポーツ競技の実績が優秀であるだけでなく、人格的にも優れ学業に対する高い意欲を持つ

者を、競技実績や提出書類、小論文、面接等の内容により多面的・総合的に評価し、選抜することを目的とする。

5. 外国人留学生入試

国際交流の一環として、交換留学制度とは別に、本学での教育を希望する外国人留学生を選抜することを目的とする。募集は書類選考で、提出書類および日本留学試験の成績等の内容により、多面的・総合的に評価する。

6. 社会人入試

大学で学ぶ意欲を持つ社会人を、提出書類や面接等の内容により多面的・総合的に評価し、一般入試とは別の入学試験によって選抜することを目的とする。

7. 指定校推薦入学

現代心理学部が自らの教育研究上の目的に基づいて、特色ある教育を行っている高等学校を指定したうえで、現代心理学部の教育研究上の目的を理解し、現代心理学部が定める一定の学力を有する者を高等学校長が推薦し現代心理学部が受け入れることを目的とする。

8. 関係校推薦入学

日本聖公会に所属する高等学校を対象として、本学ならびに現代心理学部の教育研究上の目的を理解し、キリスト教に基づく教育を継続して学びたいという意欲のある者を高等学校長が推薦し本学が受け入れることを目的とする。

9. 学校長推薦による入学 (NEXUS)

NEXUS プログラム日本語集中履修期間のカリキュラム内容ならびに2学期目以降に接続する現代心理学部カリキュラムにおける教育研究上の目的に基づいて、特色ある教育や言語教育を行っている外国の高等学校を指定したうえで、次世代に繋がるグローバルな協働共生について日本語コミュニケーションを通じ実践する姿勢を持ち、かつ現代心理学部の教育研究上の目的を理解し本学が定める一定の学力を有する者を当該の高等学校長が推薦し現代心理学部が受け入れることを目的とする。

入学前学習

関係校推薦、指定校推薦、アスリート選抜入試、自由選抜入試による入学者には、学部専任教員が作成した、入学後の学習に役立つと思われる推薦図書のリストを送付し、入学前の学習を促している。また、REO (Rikkyo English Online) を使った英語の自主学習の機会を提供している。